



第39回全日本少年サッカー大会 東京都大会 要項

< 大会趣旨 >

公益財団法人日本サッカー協会は日本の将来を担う子供達のサッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、研修の場として本大会を開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことの出来るようサポートする。子供達や周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことを目指すものである。

1. 主催 公益財団法人 日本サッカー協会 公益財団法人 日本体育協会 日本スポーツ少年団
読売新聞社
2. 主管 東京都少年サッカー連盟
3. 後援 日本テレビ放送網 報知新聞社
4. 特別協賛 YKK 花王
5. 協賛 コカ・コーライーストジャパン 日清オイリオグループ 日本マクドナルド ゼビオ ゆうちょ銀行
6. 開催協力 東京スタジアム 味の素スタジアム西競技場
7. 日時 2015年11月3日～11月23日
8. 会場 稲城長峰 多摩南豊が丘 赤羽 小石川 町田 味の素西競技場
各ブロック会場
9. 参加資格

- (1) 2015年度第4種に加盟登録したチームであること(準加盟チームを含む)。登録団体より1チームの参加となる。
 - (2) 上記チームの構成は単一チームに限られ、年間を通じて継続的に活動していること。
 - (3) 上記チームに所属する選手であり、本協会発行の登録選手証を有するもの及び選手証が発行されていない時期に公式戦に参加する際は Web 登録の承認済みの写しを代用する。
 - (4) 都道府県大会から決勝大会に至るまでに、同一選手が異なるチームへの移籍後、再び同一大会に参加することはできない。
 - (5) 参加チームは必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入していること。
 - (6) 小学校6年生主体で編成されたチーム。
- ただし、5年生以下の選手を含める場合は選手の健康・体格・体力・技能等を十分に考慮しチームの責任において出場させること。

10. 競技規則

- (1) 試合は、実施年度「サッカー競技規則および「8人制サッカールール」」に準じる。
ただし、本大会要項に定められた事項が優先する。
- (2) 競技時間は40分(前後半各20分)とし、インターバルは5分とする。
- (3) ブロック大会はリーグ戦とする。
中央大会は U-12サッカーリーグ30チーム、1～15ブロック予選上位より推薦する4～5チーム、16ブロック2チームが出場し、計92～94チームのトーナメント戦とする。
- (4) 競技は8人制とする(試合開始時に8人が必要)。登録選手は8～16名までとし、交代ゾーンを使用する「自由な交代」を採用する。フィールド上に8人の競技者がいない場合、試合は参考試合とする。
- (5) 8人制の審判は一人の主審と一人の補助審判(必須)で行う。
- (6) フィールドは68m×50mを基本とする。ゴールは少年用。ただしブロック大会については、それぞれの事情に応じて設定してよい。
- (7) 本大会試合中、退場処分を受けたものは、本大会の次の1試合に出場できない。

(警告回数が2に達した場合も同処置とする。)

次の試合はその選手を除いた8名で行う。

(8) キックオフから直接相手ゴールに入った場合は、得点を認めず、相手チームにゴールキックが与えられる。

(9) 試合ボールは4号球とする。

11. その他 (1) 競技日程 ブロック大会は10月31日までに終了する。

(2) 抽選会・監督会議 11月1日(木)東京体育館第1会議室

12. 大会参加費 20,000円

中央大会実施要項

1. 日 程 2015年11月3日・7日・8日(日)・15日・21日・23日

2. 会 場 1日目:多摩市南豊ヶ丘 2日目・3日目:稲城長峰、多摩市南豊ヶ丘 4日目:赤羽、小石川
5日目:町田 6日目:味の素西競技場

3. 参 加 U-12サッカーリーグ30チーム、1~15ブロック大会の上位の推薦4~5チーム、
16ブロック大会の上位の推薦2チーム合計92~94チーム。

4. 組み合わせ 全チーム監督出席による抽選を行う。

5. 競技規則

(1) 試合は、「実施年度サッカー競技規則」および「8人制サッカールール」に準じる。

ただし、本大会要項に定められた事項が優先する。

(2) 競技時間は40分(前後半各20分)とし、インターバルは5分間とする。

(3) 競技は8人制とし、常に両チームとも8人の競技者で試合を行う。(試合開始時に8人が必要)

一方のチームがフィールド上に8人の競技者がいない場合、試合は参考試合とする。

ただし、主審の承認を得て、用具を正すまたは負傷の処置で一時的に、8人未満の場合はその限りではない。

なお、すみやかに復帰または交代して、8人の競技者にするものとする

・競技者が退場を命じられた場合は、交代要員の中から即、競技者を補充することができる。

主審は競技者の補充が行われようとしている間は、試合を停止する。

・試合ごとの登録選手は8~16名までとし、交代ゾーンを使用する「自由な交代」を採用する。

交代手続きは主審に通知する必要はないが、ゴールキーパーの交代はボールアウトオブプレー中に主審に通知する。

(4) 審判は一人の主審と一人の補助審判(必須)とする。

(5) キックオフから直接相手ゴールに入った場合は、得点を認めず、相手チームにゴールキックが与えられる。

(6) 試合はすべてトーナメント戦とし同点の場合は3人ずつのPK方式。決勝戦は前後半5分間の延長戦を行う。

ただし、延長戦でも勝負が決まらないときはPK方式とする。

(7) 本大会試合中、退場処分を受けたものは、本大会の次の1試合に出場できない。

次の試合はその選手を除いた8名で行う。

退場を命じられた競技者の、それ以降の処置は「規律フェアプレー委員会」で決定する。

(警告回数が2に達した場合も同処置とする。)

なお、ブロック大会の退場、累積警告での未処置の処分は持ち越さない。

6. 表 彰(1)1位から4位までを表彰(賞状、優勝杯、敢闘賞、努力賞、グッドマナー賞)

(2)中央大会1位のチームを(仮称)全日本少年サッカー大会・決勝大会へ推薦する。

(3)中央大会出場チームより20名の優秀選手を選出し表彰する。

7. ユニフォームについて

日本サッカー協会「ユニフォーム規程」および「各大会要項」による。

なお、かならずフィールドプレーヤーとなるゴールキーパーのショーツおよびストッキングは、試合開始前からフィールドプレーヤーと同じ色彩で良い。ただし、ジャージ、シャツは他の競技者と区別できる色とする。

また、背番号は選手固有の番号とする。